

Raymond Academy

レイモンド学園だより No.41

2018年11月

【報告】

2018年9月14日(金) Field Trip 海洋科開発研究機構

横須賀にある海洋開発研究機構を見学しました。深海を探査する潜水艇の仕組みや、深海の圧力の大きさについて学びました。



2018年10月2日(火) LOGOS HOPE号

Logos Hope号に3年間乗船され世界各国を回り尊い経験をされた、鎌内晴香さんからお証しや体験談を伺いました。外国のことや、クリスチャンの様々な生き方を教えていただき、恵を受けました。



2018年10月12日(金) Honor Roll

カップヌードルミュージアムで、チキンラーメンとカップヌードルを作って楽しみました。



2018年10月26日(金) Christian Educators' Convention

今年度も阿部先生からの力強いメッセージから励ましを頂きました。クリエイション・リサーチの宮本先生からは創造論について興味深いお話を沢山お聞きすることができ、信仰が励まされました。また、中学生以上の生徒による特別賛美もありました。



【生徒のキャラクタートレイツ】

毎月レイモンド学園ではみことばと共に、イエス様の御性質を取り上げてチャペルやデポーションで学んでいます。そして月末にその性質について自分が得たことをレポートにまとめます。今回は小学生のレポートをご紹介します。

「正しい」

今月ぼくは、正しいということについて学びました。正しいということの意味は、みことばにある神様の全ての命令と、日々の祈りを通して、神様に示された方向に一致した生活を送るということです。

聖書の中で正しいということについて教えてくれる箇所は、第2テモテ2章21節の「ですから、だれでも自分自身をきよめて、これらのことを離れるなら、その人は尊いことに使われる器となります。すなわち、きよめられたもの、主人にとって有益なもの、あらゆる良いわざに間に合うものとなるのです。」です。ぼくは自分で自分をきれいにするには出来ません。しかしぼくは、イエス様の死と復活がぼくをきれいにしてくれる、つまり罪から解放してくれると信じています。自分自身をきよめるというのは、罪から離れる、また、罪を避けること言うことです。ぼくは正しく生きるには、義と信仰と愛と平和を求めるべきだと学びました。神様は準備している者を用いられるので、ぼくはいつも準備している必要があります。チャペルで献仁先生は、正しい考え方が正しい生き方につながるというおられました。

ぼくは正しい生き方をするために、日々みことばを心に蓄え、自分の考え方や心の向く方向を正しくしていただき、神様に用いられるような、きよく正しい器になりたいです。